

岩手医科大学歯学部 卒業時アンケート

I 以下の質問に対し、当てはまると思う目盛りに○を付してください。

1. 岩手医科大学歯学部のディプロマ・ポリシーを知っていましたか。(別紙1に原文を記載しています)

全く知らない		知っているが 理解していない			よく理解している	
23	5	1	4	2	0	0

2. 現在、あなたの学習成果はディプロマ・ポリシーに示す目標に到達していると思いますか。

全く到達していない		一部到達している			十分到達している	
6	5	4	15	2	1	2

3. 現在のあなたの能力(知識、技能)で歯科医師臨床研修を受けることに自信はありますか。(別紙2に歯科医師臨床研修の到達目標を記載しています)

全ての項目に 自信なし		一部の項目に 自信なし			全ての項目に 自信あり	
3	2	2	14	8	2	4

4. 卒業までのカリキュラムはディプロマ・ポリシーに示す目標の到達に役立ったと思いますか。

全く役に 立たなかった		どちらとも いえない			すごく 役立った	
2	2	1	21	5	3	1

5. 卒業までのカリキュラムは臨床研修を受ける準備として役立ったと思いますか。

全く役に 立たなかった		どちらとも いえない			すごく 役立った	
0	1	0	13	15	4	2

6. 本学の卒業生となることを誇りに思いますか。

全く思わない		どちらとも いえない			とても 誇りに思う	
2	1	0	13	13	2	4

II 以下の質問に対し、当てはまると思う項目にチェックしてください。

1. 本学在学中に自分が歯科医師となるうえで向上したと感じるのはどれですか。(複数選択可、最も向上したと感じる項目には◎をつけてください)

態 度	倫理観	モチベーション	体 力	精神力(忍耐力、 集中力など含む)
18	10	9	12	16
コミュニケーション能力	一般常識	基礎医学的学力	臨床医学的学力	診断能力
15	8	14	14	19
治療技術	技工技術	その他		
16	13	0		

2. 本学在学中に自分の向上に役だったと感じるのはどれですか。(複数選択可、最も役だったと感じる項目には◎をつけてください)

教養系講義	基礎医学系講義	臨床系講義	基礎実習	臨床実習
10	10	21	10	22
高次臨床実習(スタ ディアブロード含)	体験型実習(介護看 護、歯科専門体験等)	チーム医療関連 講義・演習	ソサエティ制度	オフィスアワー
10	8	0	13	0
クラブ活動	その他			
6	0			

3. あなたが本学の教育に関することで改善が必要と考えていることはどれですか。(複数選択可、最も必要と感じる項目には◎をつけてください)

入学制度	カリキュラム	講義	教員の教育能力	設備・施設
9	13	10	9	9
進級判定制度	試験制度	CBT 対策	国家試験対策	その他
12	10	1	9	2

4. あなたは将来、歯科医師としてどのような就業形態を希望していますか。(複数選択可、最も強く希望するものには◎をつけてください)

開業医	勤務医	臨床系大学職員	研究施設勤務 (基礎系大学職員含)	行政職
22	18	10	1	3
歯科医師として働くつもりはない		その他		
2		0		

Ⅲ 大学への意見がありましたら記載してください。

- ・卒試は2回とかでいいと思います。
- ・難しいとは思いますが、もっと入学者のレベルを上げた方が良くかと

別紙1 岩手医科大学歯学部 ディプロマ・ポリシー

本学の建学の精神「医療人たる前に、誠の人間たれ」を深く理解したうえで歯科医師として必要な知識・技能・態度を修得し、チーム医療や地域社会において活躍できる歯科医師として以下の各資質を身につけ、かつ所定の課程を修めた者に対して学士(歯学)の学位を授与します。

1. 歯科医師として患者や地域住民の健康と生命を守るという責務を理解すること。
2. 「生命の尊厳」、「守秘義務」、「患者の権利」に配慮して患者中心の歯科医療を実践すること。
3. 患者やその家族に歯科医療の内容をわかりやすく伝え、さらには、彼らの気持ちに配慮しながら良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を備えること。
4. 医療チームの一員として、相手の立場を尊重しお互いの協力のもとに医療を円滑に実践すること。
5. 科学的な根拠をもとに統合された知識、技能、態度を有し、全身的、心理的、社会的状況に対応可能な総合的な診療を実践すること。
6. 地域の保健、医療、福祉、介護の現状や問題点を把握して、地域医療の向上に取り組む態度が備わっていること。
7. 国際的な医療活動に参加するための基本的な語学能力を有すること。
8. 歯科医学や医療の発展に寄与する研究を遂行するために必要な知識と技能を有すること。
9. 生涯にわたり歯科医療に対する自己研鑽を続ける態度が備わっていること。

以上の教育成果を達成することができるように六年一貫でカリキュラムが構成されています。本学のすべてのカリキュラムを完遂し、年次ごとの科目を着実に修得することが必要です。そのため、学則第2条に定める期間を在学し、かつ第6条に定める所定の授業科目及び単位を履修修得しなければなりません。その上で、各学年および卒業時に定められた成果評価試験(筆記式の試験、客観的臨床技能試験、態度評価)に合格したものを卒業とし、学士(歯学)の学位を授与します。

別紙2 歯科医師臨床研修の到達目標(厚生労働省)

* 到達目標には研修歯科医自らが確実に実践できることが基本となっている「基本習熟コース」と、臨床研修修了後に習熟すべき「基本習得コース」の目標が設定されています。ここでは「基本習熟コース」の目標のみを記します。

歯科医師臨床研修「基本習熟コース」

【一般目標】

個々の歯科医師が患者の立場に立った歯科医療を実践できるようになるために、基本的な歯科診療に必要な臨床能力を身に付ける。

(1)医療面接

【一般目標】

患者中心の歯科診療を実施するために、医療面接についての知識、態度及び技能を身に付け、実践する。

【行動目標】

- (1) コミュニケーションスキルを実践する。
- (2) 病歴(主訴, 現病歴, 既往歴及び家族歴)聴取を的確に行う。
- (3) 病歴を正確に記録する。
- (4) 患者の心理・社会的背景に配慮する。
- (5) 患者・家族に必要な情報を十分に提供する。
- (6) 患者の自己決定を尊重する。(インフォームドコンセントの構築)
- (7) 患者のプライバシーを守る。
- (8) 患者の心身におけるQOL(Quality Of Life)に配慮する。
- (9) 患者教育と治療への動機付けを行う。

(2)総合診療計画

【一般目標】

効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合治療計画の立案に必要な能力を身に付ける。

【行動目標】

- (1) 適切で十分な医療情報を収集する。
- (2) 基本的な診察・検査を実践する。
- (3) 基本的な診察・検査の所見を判断する。
- (4) 得られた情報から診断する。
- (5) 適切と思われる治療法及び別の選択肢を提示する。
- (6) 十分な説明による患者の自己決定を確認する。
- (7) 一口腔単位の治療計画を作成する。

(3) 予防・治療基本技術

【一般目標】

歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために、必要な基本的技術を身に付ける。

【行動目標】

- (1) 基本的な予防法の手技を実施する。
- (2) 基本的な治療法の手技を実施する。
- (3) 医療記録を適切に作成する。
- (4) 医療記録を適切に管理する。

(4) 応急処置

【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、応急処置を要する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。

【行動目標】

- (1) 疼痛に対する基本的な治療を実践する。
- (2) 歯、口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。
- (3) 修復物、補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する。

(5) 高頻度治療

【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。

【行動目標】

- (1) 齲蝕の基本的な治療を実践する。
- (2) 歯髄疾患の基本的な治療を実践する。
- (3) 歯周疾患の基本的な治療を実践する。
- (4) 抜歯の基本的な処置を実践する。
- (5) 咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。

(6) 医療管理・地域医療

【一般目標】

歯科医師の社会的役割を果たすため、必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身に付ける。

【行動目標】

- (1) 保険診療を実践する。
- (2) チーム医療を実践する。
- (3) 地域医療に参画する。